



2026年3月16日

各 位

会 社 名 株式会社 サイバーリンクス
代表者名 代表取締役社長 東 直樹
(コード番号：3683 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役 総合管理部長 鳥居 孝行
(TEL. 073-448-3600)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、その機能を向上させることを目的として、当社コーポレートガバナンス・ガイドラインに基づいて取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価方法について

2025年12月期を評価対象期間として取締役会の実効性を分析・評価するにあたり、すべての取締役に「取締役会評価に関する質問票」を配付し、その回答結果を基に取締役会において議論を行いました。

<質問票の項目>

- ・取締役会の運営について
- ・取締役会での審議充実に向けて
- ・取締役会を支える体制について
- ・取締役会における監査等委員である取締役の役割・期待の発揮に向けて
- ・株主との関係充実に向けて
- ・役員自身の取り組みについて
- ・その他自由記載

2. 分析・評価結果について

(1) 分析・評価結果の概要

以下の観点から、取締役会の実効性は確保できていると評価いたしました。

- ① 取締役会の開催頻度、資料の検討時間、議題の提案時期、審議事項は適切であり、審議に十分な時間が確保されている。
- ② 社外取締役の業界や経営に関する知識・経験・能力が確保されている。
- ③ 取締役会の議事進行は適切であり、自由に発言できる雰囲気になっている。
- ④ 審議に必要な情報提供の機会確保や外部専門家の活用等、取締役会を支える体制については、適切に整備されている。
- ⑤ 取締役（監査等委員を含む。）と内部監査室との連携体制は十分整えられている。

前年度の課題であった、「投資家・株主とのコミュニケーションについての議論を活性化」については改善が図られました。一方で、経営課題の提示・対応策の審議、事業に影響する主要なリスクについての議論の活性化等については、引き続き改善の余地があると認められました。

(2) 評価結果から抽出された課題

当社取締役会の実効性を更に高めるために取り組むべきこととして、以下の課題を抽出いたしました。

- ① 適切な取締役の人数、ジェンダーを含めた取締役会の構成員の多様性を確保すること。
- ② 経営課題の提示・対応策の審議、事業に影響する主要なリスクおよびコンプライアンスや内部統制システムの運用状況の報告について議論を活性化させること。
- ④ IR活動のさらなる充実を図ること。
- ⑤ 取締役に対するトレーニング機会のあっせん、役割・責任を理解する機会の提供を整備すること。

3. 今後の対応について

上記2.(2)で抽出された課題について具体的な対応策を取締役会で協議の上、改善に取り組み、取締役会の実効性の更なる向上に努め、より充実したコーポレート・ガバナンスと企業価値向上を目指してまいります。

以上